

福井県立図書館(1/2)

県立図書館は情報のワンダーランドです

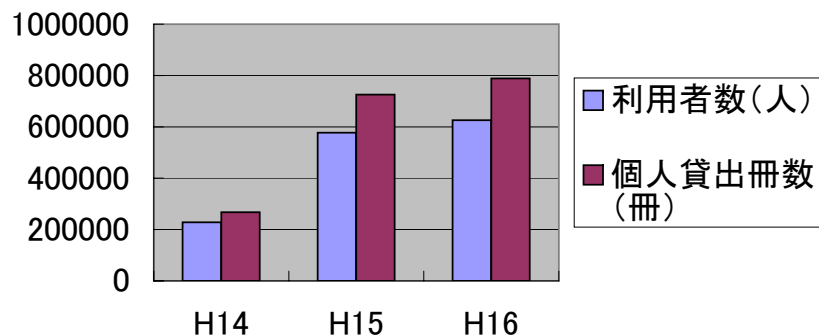
所在地	福井市下馬町51-11		
設置年月日	昭和25年4月1日(平成15年2月1日改築)		
施設の種類	図書館	施設管理主体	県
設置の目的	図書、その他必要な資料を収集、展示して、広く県民の利用に供し、本県における生涯学習の拠点を目指す。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)、地上5階、地下1階 延床面積15,317㎡、蔵書63万冊(開架30万冊、書庫33万冊)		
職員数	職員24人 事務補助員1人 アルバイト3人 計28人		

利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	227,980	577,568	626,208
個人貸出冊数(冊)	267,760	725,734	788,468

利用者負担(利用料金)等

施設使用料(全日)	多目的ホール	21,000円
複写手数料	白黒	10円
	カラー	80円



利用状況の推移	平成15年2月に新館を開館し、新館では開架冊数を30万冊に増やしたことにより、15年度の利用者数は旧館時代に比べて2.3倍の57万8千人、個人貸出冊数は2.5倍の72万6千冊となりました。
	16年度も引き続き利用者サービスの向上に努め、対前年度比の来館者数は8.4%増の62万6千人、個人貸出冊数は8.6%増の78万8千冊となりました。
	また、16年度の入館一人当たりの入館者数は0.95人で全国1位となっており、同様に貸出冊数は1.14冊で全国2位、蔵書冊数は1.07冊で全国3位となっています。

16年度の特徴について

事業実績	開館日について、ゴールデンウィークの全日および夏休み期間中の月曜日を臨時開館するなど、県民の利便性の向上を図りました。
	おはなし会や映画会などの開催を中心に、子ども向け行事を充実し、総合的な学習の時間での図書館活用を進めるなど、児童・生徒を対象とした取組みを実施しました。
	図書館だよりの発行やホームページのリニューアルを行うなど、積極的に図書館の活動内容を情報発信しました。また、話題となったオリンピックなど国内外のテーマに関する資料の展示や、郷土資料を新たな視点で紹介する展示を行うなど、各種企画展示の充実を図りました。
	広く県民に県立図書館に対する理解を深めていただくとともに、県民参加型の図書館の運営を行うために「県立図書館ボランティア」を募集し、積極的活動を展開しました。
	利用サービスの向上や県民に開かれた図書館の運営を実現するため「県立図書館運営懇話会」を開催し、広範な検討を行いました。
全国公共図書館児童・青少年部門研究会の開催や、直木賞作家の山本一力氏の講演会、「子どもと本の講座」など各種講演会等を開催し、読書への関心をより深める取り組みを実施しました。	
平成16年9月に、新館開館以来の入館者数が100万人を突破し、これを記念して県民100人に漢字・文字研究者白川静先生の「常用字解」を贈呈しました。	
平成16年11月、フレンドリーバス事業が県立図書館所管となり、本格運行を開始しました。	

各種行事の開催

読書週間記念大会などの講演会や、子ども向け行事を多数開催し、延べ2,056名の参加がありました。



図書資料の展示

一般企画コーナーは毎月、郷土展示コーナーは3か月に一度、子ども室特集コーナーは1~2か月に一度展示換えを行い、所蔵する多くの貴重な歴史資料を、いろいろな角度から展示・紹介しています。



県立図書館の利用者サービス

- ・レファレンスサービス(調査・相談)
 - 図書館司書が利用者の調べ物に必要な資料や情報を紹介したり、資料を探す手伝いをするサービス
- ・リクエスト、相互貸借
 - 利用者が求める資料を所蔵していない場合に購入したり、県内外の図書館とのネットワークにより資料を借りて提供するサービス
- ・インターネット予約サービス
 - 利用者が家庭のパソコンから、インターネットで県立図書館の資料を予約することができるサービス

福井県立図書館(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	244,139	29.2%	97.8%
	退職給与引当金繰入	▲ 6,744	-0.8%	77.2%
	計	237,395	28.4%	98.6%
物にかかるコスト	物件費	284,597	34.0%	100.0%
	維持補修費	4,277	0.5%	140.6%
	減価償却費	175,156	20.9%	105.2%
	計	464,030	55.4%	102.2%
その他	公債費(利子)	135,291	16.2%	101.2%
	その他	175	0.0%	8.8%
	計	135,466	16.2%	99.8%
合計		836,891	100.0%	100.8%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	13,861,610	103%	固定負債	10,624,115	95%
投資等	0		流動負債	516,692	224%
流動資産	0		正味資産	2,720,803	130%
計	13,861,610	103%	計	13,861,610	103%



施設の特徴

さまざまなジャンルの蔵書を有しており、生涯学習の拠点施設として、多様化、高度化する県民の学習ニーズに応えています。
 県内の公共図書館の中心的な存在として、市町村立図書館を通じての所蔵圖書の貸出や職員研修などを実施しています。
 学校図書館への貸出やおはなし会などの子ども向け行事の開催を通じて、子どもの読書活動の推進を図っています。
 福井県に関する資料の収集・保存にも取り組んでおり、本県の歴史、文化、経済等の情報を広く県民に提供し、利用されています。

今後の課題

より一層の利用拡大に加え、利用者サービスの多様化、高度化が必要です。
 利用者サービスの向上に向けた市町村立図書館への支援、連携がさらに必要です。

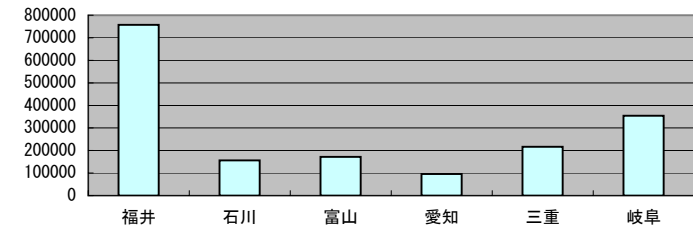
(単位 千円)

収入				
収入	利用料等収入	1,964	0.2%	118.0%
	その他収入	977	0.1%	84.4%
	一般財源	833,950	99.6%	100.8%

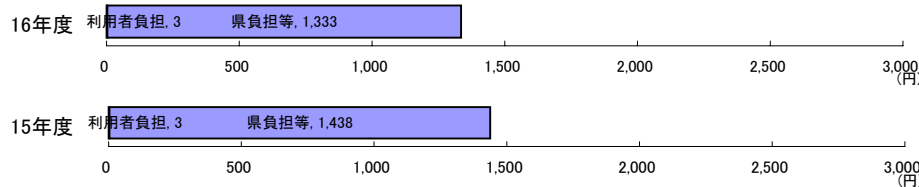
(前年比)

利用料等収入計	1,964,000 円	118.0%
利用者1人あたり平均利用料	3 円	100.0%
利用者1人あたりコスト	1,336 円	92.9%

東海北陸地区の県立図書館の人口百万人あたりの入館者数比較 (単位 人)



利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

- ・施設の移設が平成14年度と新しく、減価償却費や公債費の割合が高くなっています。
- ・平成16年度には、書架等の整備を行ったため、資産が少し増えています。
- ・コストの削減とともに、利用者の増加によって、利用者一人当たりのコストは大きく減っています。

今後の事業方針 取り組み内容

郷土の先覚者の足跡を学習するため、「五箇条の御誓文」や「解体新書」等を活用した企画展示や市町村図書館等への貸出しサービスを検討しており、所有する貴重な歴史資料の活用を図っていきます。

郷土の偉人や福井の歴史を知ってもらうため、本県出身の作家の写真、愛蔵品、直筆原稿等の展示や福井が舞台の作品を紹介するコーナーの整備を検討します。

子どもから大人までの幅広い年齢層の県民が、「白川文字学」や漢字・文字に親しむことができるように、平成17年4月に開設した「白川文字学の室(へや)」に、子ども向けの資料の充実や遊びを取り入れた催しなどの取組みを検討しており、「白川文字学」の一層の普及啓発と本県における漢字文化の振興を図っていきます。

ジョブカフェ等と連携した産業支援セミナーの図書館での開催を検討し、起業や新分野開拓を目指す人へのサービス向上を図るほか、現在、月2回開催しているお話し会を週末ごとに開催したり、お薦め本の学校貸出しや中・高校生向けの新着図書リストの学校向けメール配信など、幼児や児童、生徒に対するサービス向上を検討します。

遠隔地の利用者が、県立図書館で借りた本を地元の市町村立図書館で返却できるようにするサービスや、県立・市町村立図書館間で実施している図書搬送回数を増やし、市町村立図書館を窓口にして県立図書館の本をより早く借りられるようにするサービスの充実を検討します。